

「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する検討会議」

第5回 会議要旨

1 日 時 令和4年11月2日（水）14:00～15:25

2 場 所 ホテルグランヴィア岡山3階「クリスタル」

3 出席者 岡山県 県民生活部長

新見市 副市長

広島県 地域政策局長

庄原市 事務担当副市長

JR西日本中国統括本部 岡山支社 副支社長

〃 広島支社 副支社長

※各団体の実務担当部署から、所属長及び担当者が同席

4 内 容

(1) 第4回検討会議の振り返り

(2) 検討会議における協議事項について

(3) 各構成員による発表

①広島県域に係る取組

②岡山県域に係る取組

(4) 意見交換

(5) 第6回検討会議に向けて

(6) その他

5 検討会議における協議事項について

前回の検討会議において、JR西日本から、「特定の前提を置かずに、将来の地域公共交通の姿についても速やかに議論を開始したい」と意見があった件について、幹事会で検討を行い、「本検討会議は、利用促進を検討するために設置した会議であるため、それ以外の議論はしない」との結論となったことを報告した。出席者からの異議がなかったため、本件については、幹事会の結論どおり決定された。

6 意見交換要旨

○JR西日本中国統括本部広島支社

- ・本日報告のあった取組が奏功し、公共交通の利用促進につながる事は勿論だが、何より地域が元気になる事が一番大切だと思っている。
- ・そのような観点から、地域の魅力的な素材の発信等や関係人口の創出等できる限り皆様のサポートをしたいと考えており、引き続きの連携をお願いする。

○広島県

- ・生活交通としての利用促進について、住民の行動変容や利用の定着には、実証的な取組を繰り返していく中で、一定の時間が掛かるという認識のもと、本検討会議や、沿線市町及び芸備線対策協議会と連携しながら、新たな利用促進策にも取り組んでいるところである。
- ・データ分析などに基づき、広域的な観点も踏まえた日常利用・観光利用の促進を実施することなどにより、沿線の活性化につなげていきたい。

○庄原市

- ・利用促進の取組が、市民生活や地域活性化が定着するためには、一定の時間を要するため、継続した取組を行うことが重要である。
- ・今後も市民の生活利用の利便性向上や観光等による地域活性化につながる利用促進を力強く進めたいので、引き続き、皆様の連携・協力をお願いしたい。

○JR西日本中国統括本部岡山支社

- ・各地域で開催した鉄道体験イベントにおいては、多くのお客様にご参加いただき、鉄道のファンになっていただけたと思う。
- ・新見市における、二次交通の改善、官民連携による利用促進や、新見市オリジナルICOCA導入の取組は、新たな利用者の獲得と地域活性化に寄与するものと考えている。引き続き、地域の皆様と連携した取組を進めていきたい。

○新見市

- ・JRや各自治体の取組により、住民の鉄道に対する意識は高まってきており、民間レベルでの活動も活発になっていると感じている。
- ・検討会議が始まって1年3か月という短期間であるが、沿線自治体で連携した取組により、効果が表れてきているが、一方で、日常利用の定着には、ある程度の期間を要するため、取組を継続することが必要であると考えている。

○岡山県

- ・7月から9月にかけて開催された岡山デスティネーションキャンペーンの中で、鉄道の魅力を伝えるイベントも多数開催され、多くの方に鉄道をより身近に感じていただけたと思う。こうした盛り上がりも生かして、さらなる利用促進の取組を進めていきたいと考えている。
- ・年度後半も、様々な取組が予定されており、引き続き、皆様と連携を図りながら芸備線の利用促進に取り組んでいきたい。

7 その他の意見要旨

○JR西日本中国統括本部岡山支社

- ・当社としては、「地域のまちづくりに向けた、利便性と持続可能性の高い地域公共交通の再構築」に向けた取組を利用促進の議論と並行して、関係の皆様と、取り組んでいきたいと考えている。
- ・本年7月には、国の有識者検討会による提言が公表され、現在、国において、地域の公共交通の再構築に向け、新たな支援制度や法改正などの検討が始まっている。
- ・このような状況を踏まえ、当社としては、「特定的前提を置かない、将来の地域公共交通の姿の議論」の進め方について、国も含めた関係者と、具体的な相談を進めていきたい。

以 上